



今年の夏休みはレギュラー教室30教室、夏のオープンスクール50教室(延べ)開催しました。また、出前スクールには10カ所31回出かけていきました。例年より暑い日が続き、移動等が大変でしたが、講師やサポーター、ボランティアの皆さんのご協力により、何とか乗り切ることが出来ました。皆さまには大変、感謝申し上げます。

中高生のボランティアが大活躍

(理事長 辻 久好)

いなべ市市民活動センターからの夏休みボランティア体験を受け入れ、また、昨年に引き続きかかわってくれた方と合わせて、中高生ボランティアが13人、延べ27回の参加がありました。会場準備から、受付や記録写真撮り、子どもたちのサポートなど積極的に関わってくれました。



♡キャラかごに参加して、いろいろな子が話しかけてくれてうれしかった。これからも小さい子たちと関わる機会を作っていきたい。

♡木工では、子どもたちがノコギリで切る、釘を打つ、ボンドで貼付ける等の作業を楽しみながら作っていた。手伝った子の思いに触れる機会が持てた。

♡バルーンアートの会の方から、次回もぜひと誘ってもらった。

♡ビーズアクセサリーは、難しい作業もあったが、楽しかった。他の教室でもボランティア参加したい。

♡親と子どもが協力して作っており、子どもも大人も楽しめるビーズアクセサリーはいいなと思いました。

♡能楽の教室で、8年間続けてきたことで得た自分の知識を小さな子どもたちに伝えたい。

♡つまみ細工は、自由にデザインを決められるので、小さい子の創作意欲をかき立てる良い教室だと思いました。

(ボランティア体験レポート、及びボランティア活動日誌より)

サポーター・ボランティア募集中 受付や、子どもたちの見守り、記録写真、講師のサポートが主な内容

夏のオープンスクール 掃除機をバラしてみよう！ 第1研修室(8/2, 8/9)

夏のオープンスクールは、30教室述べ50回開催しました。

その中で「掃除機をバラしてみよう！」は、いなべおもちゃ病院に今年初めて開催していただいた教室です。参加者13人が目を輝かせて、



掃除機を分解している様子は見ていてとても楽しかったです。

2回に分けての開催で、

1回目に大部分を分解したので、どうするのか見ていたら、さらにスイッチやモーター、ホース部分も分解し、細か部品となりました。

掃除機を分解することで、仕組みを知ることができ、楽しかったという感想が多かったです。(文:近藤順子)



あそびの講習会開催

*夏休みに放課後児童クラブで活用していただけるように指導員を対象に開催



6月30日、木下裕美子さんによる「手軽にできるレクリエーション」を開催、12名の参加がありました。話を聞いて欲しい時やグループ分けの方法などを聞いた後、実際にみんなでじゃんけんのベースボールやサッカーなどを体験しました。



7月7日、辻久好さんによる「身近にあるものを使って工作」を開催、17名の参加がありました。浮沈子、牛乳パックを使ったカラクリなど紹介し、パクパク恐竜を実際に作成しました。どちらの教室も皆さん真剣に聞いていました。



夏休みの出前スクール 水鉄砲づくり なかよしハッピーキッズ(8/4) はっぴーきっず(8/9)



水鉄砲づくりに山郷と治田の放課後児童クラブに行きました。

竹を切る体験もさせてあげたかったのですが、低学年も多く、指導者不足でかないませんでした。でも、子どもたちは準備してきた材料で水鉄砲づくりに取り組んでいました。中の竹の棒に布を巻き、糸で結び、外の竹の筒に入れて、完成なのですが、普段、紐を結ぶという作業をあまりしていなためか、うまくいかず、すぐにはずれてしまいます。



子どもたちにはこれも経験です。結ぶ作業をサポートして、出来上がった水鉄砲を使って、子どもたちは水を飛ばし楽しそうに遊んでいました。(文:辻久好)

*「絵手紙」「能楽」「季節の工作」「太鼓」「お料理」「リサイクル工作」「科学マジック」「将棋」「バルーンアート」なども行いました。